

科目名 薬学領域におけるリーダー養成基礎科目	担当教員
	楠本正明、村木優一、今西孝至

【概要】  
 専門・認定薬剤師など薬学領域のリーダーを目指すうえで必要となる「専門・認定薬剤師の意義」「医療倫理・生命倫理」「コーチング」「リーダーシップ」等について学ぶ。

【授業の一般目標】  
 様々な職場で勤務している薬剤師が、将来の薬学領域におけるリーダーになるために必要な知識・技能・態度について考察できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	リーダー養成プログラム総論	2020年4月5日		90	村木	専門・認定薬剤師をはじめ、薬学領域で薬剤師を指導・監督する能力を備えたリーダーとしてのあるべき姿を考察できる。
		スクーリング	講義			
2	専門・認定薬剤師概論	2020年4月5日		90	楠本	専門・認定薬剤師をはじめ、薬学領域で薬剤師を指導・監督する能力を備えたリーダーとしてのあるべき姿を考察できる。
		スクーリング	講義			
3	医療・研究倫理概論	前期		90	田中	高度な医療プロフェッショナルとして必要な医療倫理・生命倫理・研究倫理について理解する。
		e-learning	講義			
4	プレゼンテーション概論	2020年5月10日		90	西村	口頭発表、ポスター発表の長所および短所を理解し、適切な発表資料を作成できる。
		スクーリング	講義			
5	EBM(論文評価概論)	2020年5月10日		90	河淵	研究論文の構成を理解し、論文の内的妥当性、外的妥当性を評価できる。
		スクーリング	講義			
6	EBMワークショップ	2020年6月28日		180	高垣 (学外講師)	患者シナリオをもとに臨床論文を各グループで吟味し、EBMを日々の業務に役立てる方法を理解する。
		スクーリング	SGD			
7	EBM(ジャーナルクラブ)	2020年8月29日		180	辻本 土手・山本 (学外講師)	論文を批判的に捉えて、臨床上の課題への適合性を考えることができる。
		スクーリング	演習			
8	コーチング概論(1):理論編	2020年8月30日		60	内藤 (学外講師)	薬学領域におけるリーダーに必要とされるコーチング理論について理解する。
		スクーリング	講義			
9	コーチング概論(2):実践編	2020年8月30日		90	内藤 (学外講師)	実践の場面を想定したケースでのコーチングスキル演習によるコーチングスキルを習得する。
		スクーリング	演習			
10	リーダーシップ論①	2020年8月30日		90	後藤	社会や医療の多様化する中で、今後の必要とされる薬学と薬剤師の役割と将来展望について理解する。
		スクーリング	講義			
11	リーダーシップ論②	2020年8月30日		90	木曾 (理事)	少子高齢化や社会保障制度問題など医療経済学・医療経営学の観点から、今後の薬学領域におけるリーダー像について理解する。
		スクーリング	講義			
12	リーダーシップ論③	2020年10月18日		180	内藤 (学外講師)	激変する医療制度の中で求められる薬剤師像・リーダーシップの在り方を理解する。
		スクーリング	演習			

【教科書・参考書】  
 教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 症例報告書作成コース専門科目	担当教員
	村木優一、辻本雅之

【概要】  
 症例報告は、患者への薬物治療に関わるなかで、普段と異なるイベントに気付き、科学的根拠をもって事象を説明する文書である。この症例報告は、学会等の専門・認定薬剤師になるための要件にも求められている。本講義では、薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書作成の基本的事項を学び、症例報告書を作成できる技能を学ぶ。

【授業の一般目標】  
 薬学的視点に基づいた症例解析や適切な症例報告書を作成することができる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標	
		授業形態					
1	論文検索術概論	前期		90	辻本	複数の二次資料の活用により必要な情報を検索し、得た情報を適切に管理できる。	
		e-learning	講義				
2	症例解析学概論	2020年4月5日		90	村木 村田 (学外講師)	薬学的視点により、症例を解析することができ、代表的な薬学的介入例について示すことができる。	
		スクーリング	講義				
3	症例報告書作成概論	2020年4月5日		90	村木	症例報告作成時の注意点を理解し、症例報告作成の基礎を身に付ける。 がん・感染症など、各専門・認定薬剤師の症例報告の様式を知る。	
		スクーリング	講義				
4	論文作成概論	2020年5月10日		90	西口	研究論文作成時・修正時の注意点を理解し、論文作成の基礎を身に付ける。	
		スクーリング	講義				
5	症例報告書作成(1)	前期		90	村木 今西 辻本 中村 松村 峯垣	自身が介入した基本的な症例について、複数の専門・認定薬剤師の様式に応じて症例報告を作成できる。	
6	症例報告書作成(2)	前期					
		スクーリング	演習				
7	症例検討会(1)	2020年8月29日		180			自身が介入した多数の症例について、自身が目指す専門・認定薬剤師の様式に応じて自身で症例報告を作成できる。
		スクーリング	演習				
8	症例報告書作成(3)	後期		90		自身が介入した多数の症例について、自身が目指す専門・認定薬剤師の様式に応じて自身で症例報告を作成できる。	
		スクーリング	演習				
9	症例報告書作成(4)	後期		90			
		スクーリング	演習				
10	症例報告書作成(5)	後期		90			
		スクーリング	演習				
11	症例報告書作成(6)	後期		90			
		スクーリング	演習				
12	症例検討会(2)	2021年2月6・7日		540	特筆すべき自験例について概説することができる。他者の症例報告等について理解し、建設的な意見を述べることができる。		
		スクーリング	演習				

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 医療を支える基礎薬学	担当教員
	古田巧、細木誠之

【概要】

薬学で学ぶ基礎科目は医療現場と密接に関係し、薬剤師の職能のベースとなるものである。本講義では、実際の医療現場で活用できる化学、生物などの基礎科目のトピックスを物理化学的な観点も交え解説する。

【授業の一般目標】

基礎薬学に裏付けられた薬剤師業務を実施し、かつ後進に指導できるようになるために、医療現場に直結する病態生理学と基礎薬学を習得する。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	医療を支える基礎薬学(1)	2020年5月10日		90	古田	医薬品の酸性・塩基性、溶解性、金属への配位性などの物性を構造式から考察できる。
		スクーリング	講義			
2	医療を支える基礎薬学(2)	2020年5月10日		90	細木	薬物の吸収・排泄等のPK/PDに関わる人体生理学について考察できる。
		スクーリング	講義			
3	医療を支える基礎薬学(3)	2020年7月19日		90	古田	プロドラッグの化学、および代表的な疾患に用いられる医薬品の構造を説明できる。
		スクーリング	講義			
4	医療を支える基礎薬学(4)	2020年7月19日		90	細木	代表的な疾患の病態生理について説明ができ、その治療薬の作用機序について説明できる。
		スクーリング	講義			

【教科書・参考書】

主に独自資料を用いる。参考書：医薬品構造化学(京都廣川書店)

科目名 医療を支える応用薬学	担当教員
	楠本正明、五十嵐恵美子

【概要】

医療・薬学技術の進歩は目覚ましく、また医療ニーズの変化ならびに多様化に伴い、薬剤師は生涯学習を通じて研鑽を積むことが求められる。本講義では、卒後の最新医療の実践に対応するため、各疾患に対して薬学的視点でどう関わるか臨床と基礎の連関を学ぶ。

【授業の一般目標】

より適切な最新の薬物療法を提供するために、臨床薬学と基礎薬学の融合の重要性が理解できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期	時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態			
1	医療を支える応用薬学(1)	2020年度開催 (5/17,6/7,7/5) の講座に参加 もしくは 過去の講座を e-learningで 3講座受講 (1講座/90分×2演題)	各180	各卒後教育 講座の演者	各卒後教育講座で学習する疾患に対して、最先端の臨床と基礎の知識を学び、患者にどう活かすことができるか考え、臨床薬学と基礎薬学の融合の重要性を理解する。
2	医療を支える応用薬学(2)				
3	医療を支える応用薬学(3)				

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 <b>統計学</b>	担当教員
	矢野義孝、地寄悠吾

**【概要】**  
 医薬研究をはじめ、医療政策および医療現場での意思決定には十分な情報の集積とそれに対する統計処理が重要になる。特に、公衆衛生学や疫学などで汎用される医療統計学および社会統計学は、医薬研究や医療問題、健康問題などを評価・把握するうえで重要な学問である。本講義では、それらの活用の意義および手法について学ぶ。

**【授業の一般目標】**  
 医学・薬学・社会科学研究に用いる具体的な統計学の理論および解析手法を習得し、活用できる。

**【学習項目・到達目標】**

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	統計学概論	2020年4月5日		90	矢野 地寄	統計学の基礎概念を理解するとともに、薬学領域で用いられる統計学的手法について考察する。
		スクーリング	講義			
2	医療統計学・社会統計学	前期		90	矢野 地寄	医学研究や社会科学研究で汎用される統計学の理論と解析手法を理解する。
		e-learning	講義			

**【教科書・参考書】**  
 教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 医療と芸術	担当教員
	古田巧

【概要】

薬剤師は、先端医療での多職種連携や医療現場での接遇など、他者との密接な関わりを求められ、豊かな人間性が要求される。本講義では、医療に関わる芸術の鑑賞を通して、他者を理解し許容する幅広い人間力を磨く。

【授業の一般目標】

多様化する医療環境や様々な疾患に向けた医療現場での多様な価値観を許容する感性を磨き、あらゆる場面で高いコミュニケーション能力を発揮できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	医療と芸術(1)	2020年7月19日		90	伊藤 (学額講師)	芸術作品を鑑賞し、感想を他者に伝え共感させることができる。
		スクーリング	講義			
2	医療と芸術(2)	2020年7月19日		90	古田 細木	芸術を医療に活かすための感性を備える。
		スクーリング	SGD			

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

科目名 医療における AI・ICT活用	担当教員
	芦原英司

【概要】

これからの時代、医療現場にはさらにAIが導入される。また ICT の発達で、医療情報の提供や共有のあり方も変化を迎えている。本講義では、AI および ICT の概要を理解し、新時代での指導的な医療人・薬剤師の在り方およびAIの利活用の仕方を学ぶ。

【授業の一般目標】

医療現場における AI および ICT の現状を把握するとともに、これらの技術が導入された医療現場での医療人・薬剤師の在り方および指導の仕方を考案できる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	AI・ICT活用(1)	2020年10月18日		90	藤本 (学外講師)	AIおよび ICT の概要および医療界での応用を理解できる。
		スクーリング	講義			
2	AI・ICT活用(2)	2020年10月18日		90	芦原 藤本 (学外講師)	AI導入時代での医療人・薬剤師の在り方、およびその利活用の仕方を理解する。
		スクーリング	SGD			

【教科書・参考書】

教材はWEB(manaba)で配信予定。

## 教員一覧

	氏名	所属	職位
学内教員	後藤 直正	京都薬科大学	学長・教授
	芦原 英司	京都薬科大学 病態生理学分野	教授
	楠本 正明	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	教授
	田中 智之	京都薬科大学 薬理学分野	教授
	西口 工司	京都薬科大学 臨床薬学分野	教授
	古田 巧	京都薬科大学 薬化学分野	教授
	村木 優一	京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野	教授
	矢野 義孝	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	教授
	五十嵐 恵美子	京都薬科大学 生涯教育センター	特命教授
	細木 誠之	京都薬科大学 病態生理学分野	准教授
	今西 孝至	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	講師
	辻本 雅之	京都薬科大学 臨床薬学分野	講師
	中村 暢彦	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	講師
	松村 千佳子	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	講師
	河淵 真治	京都薬科大学 薬物動態学分野	助教
	地岬 悠吾	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	助教
	西村 周泰	京都薬科大学 統合薬科学系	助教
峯垣 哲也	京都薬科大学 臨床薬学分野	助教	
学外講師	伊藤 亜紗	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院未来の人類研究センター	センター長・准教授
	木曾 誠一	株式会社生命科学インスティテュート(京都薬科大学・理事)	代表取締役社長
	高垣 伸匡	特定非営利活動法人 CASP Japan 医療法人社団 千春会病院	副理事長 消化器内科部長・地域連携室長
	土手 賢史	社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院	薬剤科主任
	内藤 知佐子	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 生活習慣病看護学分野	研究員
	藤本 浩司	テンソル・コンサルティング株式会社	代表取締役
	村田 龍宣	地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 薬剤科	薬剤長
	山本 和宏	神戸大学医学部附属病院薬剤部	講師